

ΔΥΝΑΜΙΣ

No.16

1993.1.1

よく聞くこと

中矢 俊博

先日、10年ぶりくらいに、フィッシャー・ディースカウの歌う「冬の旅」を、じっくり聞いた。そして、それらの歌曲を聞いて深く感動している自分を発見して、これまた感動した。私もまだまだ若い。

周知のように、この歌曲集はシューベルトの三大歌曲集（「水車小屋の娘」「冬の旅」「白鳥の歌」）の中の一つで、シューベルト自身が傑作として認めていたものである。恋人にふられた若者が、失意のうちに、厳しい冬の最中にさすらいの旅にでる様を歌ったこの歌曲集は、全部で24曲からなる。「よそ者としてやって来た私は、ふたたびよそ者として去っていく」。「愛はさすらいを愛する、神がそのようになし給うたのだ。」「どんな川も海に達する、どんな悩みもやはり墓場に通じるのだ。」「一つの道を私は行かねばならない、まだたれも行っていない道」。若者の感性に強く訴える詩に、これまた素晴らしいといしか言いようのない音楽が連綿と続く。

「物を書くことは正確な人間をつくり、会話は反応の早い人間をつくり、読書は重厚な人間をつくる」、というのはベーコンの言葉だそうだが、よく聞くことがないのはどうしてであろうか。音楽にしても、人の話にしても、はたまた自然の中にいるときにでも、よく聞く人は、真理をつかもうとしている人間に違いない。聖書の中にも、キリストをもてな

そうとしているマルタの話がある。彼女は、キリストが自分の家に立ち寄るのを大変喜んで、いろいろともてなそうと、忙しく準備をする。彼女にはマリアという妹がいるが、この妹の方は姉と違い、キリストの足元に座って、キリストの話に聞き入っているばかりである。姉が怒るのも無理はない。自分が忙しくしているのに、妹はキリストの足元にちょこんと座って、話を聞いているだけなのだから。しかし、その時キリストはこう言ったのである。「マルタ、マルタ。あなたは、いろいろなことを心配して、気を遣います。しかし、どうしても必要なことはわずかです。いや、一つだけです。マリアはその良いほうをえらんだのです。彼女からそれを取り上げてはいけません」。

図書館の静寂の中に身を置いていると、実におもしろい。腕を組み瞑想している人、天空(?)を見上げたため息をついている人、一心不乱に本を読んでいる人、懸命に筆を動かしている人等、いろいろな人がいる。彼らもそれぞれに何かを聞こうとしているのであろうか。

自然の中であれ、人工的な場所であれ、静寂の中にいる時間を大切にしたいと思う。何かが聞こえてくるはずである。ひょっとしたら...

Toshihiro NAKAYA : 経済学部助教授

「キリスト教関係資料展」のこと

昨秋の本学図書館「キリスト教関係資料展」は、卒業生また一般の方々にもひろく見ていただきたいとの願いもあって、大学祭期間を含む10月31日～11月7日の8日間にわたって催され、学外者127名を含む335名の方々に見ていただくことができました。

展示物は、本学図書館が所蔵している聖書（各国語聖書、歴史聖書、ほか）及び各地の司教館、教会、修道会あるいは個人の方々のご好意で本学図書館カトリック文庫資料として寄贈された図書などのうち約1,300点でありました。中でも「光明」「声」などの明治期の雑誌（東京大司教館、名古屋司教館から受贈）、1933年にドイツで印刷されたイラスト入りの聖書地図（名古屋主税町教会から受贈）、あるいは昭和10年代の当時のカトリック名古屋教区長宛の文部省からの通知文書の原本（名古屋司教館から受贈）等は来館された多くの方々の注目するところとなりました。これら資料を収集するに当たって図書館員は、これまでに15都県60余のカトリック関係機関（司教館、教会、修道会、その他）を訪れております。本展示会はその成果の一端を紹介することでもありました。

さて、今回の展示では、学園関係者のほか、相馬名古屋司教にも長時間丁寧に我々の仕事の成果をご覧いただき、「早期に常設展示の部屋を設けると良い。」との励ましをいただきました。また神言修道会日本管区長森山神父からも同様の趣旨の講評をいただきました。我々は、図書館全体の諸計画を具体化してゆく中でその早期実現に向けて努力したいと考えております。また、展示を見にきた学生の一人は「展示物の中に卒業論文作成の参考になる資料を見つけた。」とのことで、たまたま重複本のあることを知っていた職員が早速便宜を図りました。大学図書館が企画する行事がいちはやく研究に役立ったことはまことに喜ばしいことであります。また、展示を終えて数日後、小平市在住の丸山公子様から「聖書辞典」が届けられました。遠く足を運んで展示をご覧いただき、そのうえご所持の貴重な資料を本学へご寄贈くださるとのことに感激し感謝いたしております。

こうして今回の展示はすぐれた成果をあげて終了しましたが、緒についたばかりの「カトリック文庫」を、多くの方々による激励と助言をもとにいっそう充実させてまいりたいと思っております。

（山本和義・眞野和夫）



《文庫訪問》

＜神言神学院図書館＞

今回のこのコーナーでは、神言神学院の図書館を紹介しよう。

南山大学の東側、坂道を2、3分上ったところに神言神学院はある。南山学園の母体、神言修道会直属の司祭養成機関であり、威厳をたたえた静けさが辺りを支配しているような気がしてくる。

恐る恐る入った入口の受付で親切に教えていただき、ほっとしながら長い廊下をたどって2階の閲覧室に向かった。閲覧室はさほど広くはない。こじんまりとした明るい雰囲気である。

迎えて下さったのは、伊藤公子さん。1977年からこの図書館の事務を、一人で一手に引き受けておられるベテランである。南山の英米科の卒業生だが、ドイツ語の勉強も続けられ、蔵書の70%をしめるドイツ語の資料の整理も難なくこなす。「神言会の職員なので、夏休みも冬休みも、土曜日の休暇もないんですよ。」とぼやいていらしたが、図書館を愛する気持ちがそれに勝っていることは、言葉の端々からも容易にうかがえた。

神言神学院の図書館の蔵書冊数は、現在、約47,700で、年間1,200冊以上が受け入れられている。なかでも聖書学、教父学の分野に強いのが特徴で、他に西洋史、法律、美術、オリエンツ学、キリスト教考古学などの分野も充実している。

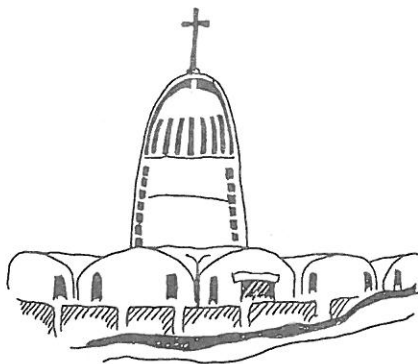
「目玉といえる資料は？」とうかがうと、「世界中のどこにも残ってないようなものが何故かここにあるんですよ。」とおっしゃりながら、館長室に別置してある1500年代の貴重書を、次から次へと借しげもなく出して見せて下さった。

その中には、1564年に刊行された『ラテン語の公会議録』、1632年刊行の『キリスト教考古学』、1633年刊行のセント・ヨハネスの

手になる『神学のテキスト』、コルネリウスの『聖書のコンメンタール』等が含まれていた。さらに重要なシリーズが1900年代から、神学・聖書学に関する雑誌は、1800年代からサブメントに至るまで完璧に揃えてあるということである。「例えば？」という問いに直ちに名を挙げてくださったのが、「Beiheft zur Zeitschrift für die alttestamentliche Wissenschaft」という雑誌である。のちほど書庫を案内していただいた折に見たら、なるほど、他の雑誌も完璧にそろっていた。同時に、伊藤さんの造詣の深さに感服した次第である。この図書館には、一般の学生向けの資料はないが、研究者にとってはまさに宝にも等しい資料が揃っているのである。遠く弘前や長崎や高知からも、研究者が訪れるというもうなずける。

伊藤さんは、「この図書館は宝の山だと言えるけれど、それを広く宣伝する予算がない。資料は使ってもらえなければその価値が発揮できないのだから、もっと多くの人にどんどん使って欲しい。」と熱っぽく語られた。神学・聖書学に興味のある人は、是非一度は訪れても良い図書館であろう。

(内藤英明・藤田三保)



神言神学院図書館を利用するには

【利用時間】

月～金：9：00～17：30

土：9：00～12：00

【利用資格】

特になし。学生は学生証持参が好ましい。

【資料の複写】

来館者は1枚10円でコピー可。

【資料の貸出】

期間：原則として1ヵ月間。ただし貴重本や原典は貸出不可。

【連絡先】

神言神学院図書館

〒466 名古屋市昭和区八雲町70番地

TEL.(052)832-2082 (内27)

【大学間相互協力（複写・相互貸借）窓口】

南山大学図書館 参考係

〒466 名古屋市昭和区山里町18

TEL.(052)832-3707 (内262)

FAX.(052)833-6986



《GEMMA便利帳》

「あっ!と思った時は後の祭り」の巻

GEMMAのリスト表示が複数画面となった時、ひたすらPF8を押して求める資料を探した経験や、その後リストの続きが見たくてリスト表示に戻ると、先頭に戻っていて腹立たしい思いをしたことはありませんか? こんな時あなたのお役に立てるのが『LIST』コマンドです。

使い方は簡単。詳細表示画面でPF3を押してリスト表示に戻る代わりに、画面下の=>の次に「..LIST」と入力し、[実行]キーを押すだけ。すると、あなたが直前まで見ていたリスト表示に戻ります。

AQUARIUS - SEARCH MODE
00010 NIPPON AND KEIZAI
NIPPON
KEIZAI
RESULT (EXTENDED)

11106 OCCURRENCES
3630 OCCURRENCES
1513 OCCURRENCES

9325 DOCUMENTS
3098 DOCUMENTS
(789) DOCUMENTS

92/10/16

PF2= リスト PF3= 検索 PF7= P戻し PF8= P送り PF12= 終了

検索して見たら... 結果は789件!

ちょっと多いけど、まっいいか...

PF2でリスト表示へ(①の画面へ)

ひたすらPF8を押し続け、求めるものを探す... ああ何てレスポンスが悪いんだあ~
701件目に求めるものを発見! (②の画面へ)

LIST MODE - 文献の内容表示はカーソルを移動後PF2です DOC 1 OF 789

①

1109090 世界とともにも生きる日本 - 経済産業5ヵ年計画-の推進状況と今後の展
1052090 '87日本経済発展 第2部 / Nippon hoso kyokai
1052089 '87日本経済発展 第1部 / Nippon hoso kyokai
1082434 A1 [人工知能]とは何か
1082428 A1 [人工知能]とは何か
1107120 アジア中東と日本産業
1061853 アジア経済の発展と日本の対
1078754 アジアの民・日本 1 /
1104282 アジアの中の日本 / アジア
1159786 アジアの中の日本経済 / ス
1116011 アジアの世紀 / 日本経済新
1161356 アジア新興工業国企業の成長
1152637 アジア諸国の労働経済 / 日
1042539 アジア・太平洋地域の発展
1093937 アジア太平洋に乗り出すソ
1093937 アジア太平洋に乗り出すソ
1091672 アジアと日本100年の経済
1169164 アメリカ経済の諸問題 / 日
1169164 安定成長における財政のあ

LIST MODE - 文献の内容表示はカーソルを移動後PF2です DOC 701 OF 789

②

1100972 多極化する世界経済と日本 / 定通宏 [ほか] 編著 晃洋書房 1990.
1109151 国「真鍮金精製」の方向 / 日本経済調査協会 [編] 日本経済調査
1085901 経済発展と日本 / 日本経済調査協会 [編] 日本経済調査協会
1045921 成長期と経済発展 / 日本経済調査研究会 [編] 中央経済社 1981
1109162 経済発展と経済発展 / 日本経済調査協会 [編] 日本経済調査協会
1109175 経済発展の国際経済秩序 / 日本経済調査協会 [編] 日本経済調査協会
1160304 「伝説」の日本経済 / 中経二書 経済社 1992. 2
1099953 経済の発展とそのシステム / 日本経済調査協会 [編] 日本経済調査
1144291 テラスで読む日本の企業グループ / 日本経済新聞社 日本経済新聞社
1160336 土地・住宅問題についてのアンケート調査結果 / 日本経済調査協会 [編] 日本経済調査協会
1129036 土地をみる / 日本経済新聞社 日本経済新聞社 1990. 7
1105651 統計調査におけるANSERシステム利用実例報告 / 統計ANSER
1180402 統計で読む日本経済 / 宮地正壽 著 ぎょうせい 1991. 11
1119096 東京一極集中のメカニズムとその問題点 / 日本経済調査協会 [編] 日
1091781 東京金融市場 / 日本経済新聞社 日本経済新聞社 1989. 5
1050797 東南アジアの日本系企業 / 日本経済調査協会 [編] 日本経済調査協会
1050787 東南アジアの日本系企業 / 日本経済調査協会 [編] 日本経済調査協会
1182191 東欧の発展と日本の対比 / 日本経済調査協会 [編] 日本経済調査協会
1109207 東欧・ソ連の産業構造とその発展 / 日本経済調査協会 [編] 日本経済調査協会
1006661 投資動向 / 日本経済新聞社 日本経済新聞社 1985

92/10/16 (DB1X)

PF2= 詳細 PF3= 検索 PF7= P戻し PF8= P送り PF12= 終了

PF2で詳細表示画面、その後出納票で所蔵状況を確認。

再び詳細表示画面に戻り、PF3でリスト表示に戻る...ってはいけない!

CLASSIFICATION = 100 DOC 701 OF 789 LINE 1 OF 16

*MAIN DATA

< R S N > 1106972
< 書名・書名 > 多極化する世界経済と日本 / 定通宏 [ほか] 編著
< 出版年月 > 京都 : 晃洋書房, 1990. 2
< ページ数 > 226p
< その他注記1 > 索引 : p224~226
< その他注記2 > 東京 : 参考文庫

**SUBDATA

< 書名 > Takayokuka suru sekai kei
< 著者 > 定通宏 [Sadamichi, Hiroshi, 1936-]
< 刊行 > Jpn
< SORT > TAKYOKUKASURUSEKAIK
< 分類 > 333.6
< ISBN > 4771004617

そう、これが大事

92/10/16 (DB1X)

PF3= リスト PF4= 検索 PF7= P戻し PF8= P送り PF12= 終了 前画面終了=出納票

これで[実行]キーを押せば、②の画面に一戻り!

ちなみにPF3を押すと... ①の画面に戻ります。ああ~702件目も見なかったのに...

と嘆いても後の祭り、ひたすらPF8を押して下さい。

(システム係 : 三谷靖司)

《資料 & CD-ROM紹介》

 MLA International Bibliography of Books and Articles
 on the Modern Language and Literatures

図書館でCD-ROMが検索できることは、前号でお知らせしました。そこで今回の資料紹介はCD-ROMでも利用できるようになった"MLA"を紹介します。

私たちが"MLA (MLA)"と通称で呼んでいるこの資料は、言語学や文学、フォークロアなどの分野の文献情報を調べるための索引誌です。欧米を中心としてアジア、アフリカ、ラテンアメリカもカバーしています。

冊子体は1921年からの刊行(年刊)で、本館では一部の欠号を除き最新号まで所蔵しています。(請求番号: Z/020/Mo13 --- 1階索引・抄録コーナーにあります)

Guide, Classified Listings, Author Index で構成された1冊と Subject Index の1冊の2分冊になっています。Classified Listings は5つのパートに分類され、それぞれをvolumeと称し、volumeごとに文献番号や頁付がされているのでちょっと注意が必要です。

Author Index, Subject Indexはアルファベット順に配列され、Classified Listings の volume番号、文献番号が記されていますので、それをたよりに探してみてください。

AUTHOR INDEX から探す -----	SUBJECT INDEX から探す -----
Precoda, Kristin III:1766 Preda, Irina III:8584 Predan, Vasja <u>II. 11455</u> Predmore, Michael P. II:10762	KALAN, FILIP (1910-1989) See also classified section : <u>II:11455</u>

文献番号	論文著者名 ▼	論題名 ▼	
[11455]	Predan, Vasja.	"In memoriam Filip Kalan Kumbatovic (1910-1989)."	
	MuK.	1987 ; 33(1-2) : 211-215.	
掲載略誌名	出版年	巻号	掲載頁数

略誌名については、Classified Listings の前に雑誌名一覧があります。

MASTER LIST OF PERIODICALS IN ACRONYM ORDER で掲載誌名を調べる -----
*MuK Maske und Kothurn : Internationale Beitrage zur Theaterwissenschaft

MLAには冊子体とCD-ROMの二つの媒体がありますが、それぞれの違いを表にしてみました。これを参考にして、どちらを利用した方がよいかを判断して下さい。
1960年代の文献を探すのにCD-ROMを使おうとする人はオマヌケさんです。

	CD-ROM	冊子体
収録範囲	1981年以降（範囲狭）	1926年以降（範囲広）
収録単位	1枚のROMに収録。	年度ごとに収録。
更新頻度	年4回（タイムラグが小さい）	年刊（タイムラグが大きい）
検索機能	多機能。色々な項目（著者、件名、論題、雑誌名、出版年など）から検索が可能。複雑な検索ができる反面、検索もれに気づきにくい。	SUBJECT, AUTHOR INDEXの2種類。索引のみであるが、流し読みすることにより思わぬ情報の発見をすることもある。
検索難度	検索方法によって差があるものの、慣れてしまえば簡単。	SUBJECT INDEXの検索は慣れが必要。AUTHOR INDEXからは簡単。
検索時間	不適切な検索（タイムスその他）をしなければ時間はかからない。	年代に幅があったり、手がかりが少ない場合非常に時間がかかる。
料 金	無料	無料

CD-ROMはレファレンス・カウンターの隣においてある端末で自由に使うことができます。初期画面がケバケバシイ色あいなので、すぐ目につくと思います。椅子に座ったら、端末の横に置いてあるマニュアルをながめつつ画面の指示に従ってキーボードを叩いて下さい。お金はかかりませんので、色々な検索を試してCD-ROMに慣れて下さい。

画面を進めていくと、検索方法を選択する画面にぶつかりますので自分の検索目的・技術に合わせた選択をして下さい。3つの検索画面に分かれますが、それぞれについて簡単に画面の流れを次ページに紹介します。

実際に検索する時は、マニュアルをよく読んで、わからないことがあったらカウンターの図書館員に質問して下さい。もう既に利用している方々からは、「大変便利」と好評です。MLAのカバーしている分野に興味をお持ちの方、どんどんチャレンジして下さいね。

1. BROWSE ----- 漠然としたテーマから文献を探す場合

Enter SUBJECT (for personal NAMES: LAST name, FIRST name)

JAZZ

Then PRESS — (ENTER) - PRESS ESC

思いつく語を入力

ENTRIES	SUBJECT
1	JAZZ LANGUAGE
4	JAZZ
4	JAZZ AGE
1	JAZZ HISTORY OF THE WORLD
112	JAZZ MUSIC

入力語の隣接語をブラウズ ▽

2. WILSEARCH --- 主題、論文執筆者、論題
雑誌名などの情報を既に
知っている場合

Personal Name: KOLBE, UWE — 著者名を入力

Title Words: GROSSTE — 論題に使われている語を入力

Journal

Organiza

1:	FIND KOLBE, UWE: (AU) OR KOLBE, UWE: (PS)	9
	(AU) KOLBE, UWE: ... 1 Entries	
	(PS) KOLBE, UWE: ... 8 Entries	
2:	FIND GROSSTE (TI)	3
3:	FIND 1 AND 2	1
	(ss # 1) ... 9 Entries	
	(ss # 2) ... 3 Entries	

▽ ▽

論題名	論文著者名	掲載年, 巻号, 頁数	論文副題
	Kolbe, Uwe		
	Der grosste Anspruch: Uber ein paar		Zeilen bei Volker Braun
	Neue Rundschau 1990 v101(4) p46-52		
SUBJECT COVERED:			
--(slt)German literature (slt)East German Literature (tim)1990-1999			
(sau)Braun, Volker (swk)"Jazz"/poetry (lth)East German government			
掲載雑誌名	付与されている件名(主題)		

3. WILSONLINE -- 検索集合を作って、集合間の論理演算等で文献を
絞っていく場合

コマンド方式による検索。検索語(AND, OR, NOTなど)を使ってより複雑な検索機能を使うことができます。

【MLAを調べた後、どうするか...】

自分の探した文献を読みたい場合、どうやって探したらよいのでしょうか。まず、南山大学図書館にあるかGEMMAで調べてみましょう。

MLAで調べた文献の書誌をよく見て下さい。雑誌の論文なのか、図書なのか判断が必要です。注意しなければならないのは雑誌の場合で、GEMMAでは論文名からは検索できないので、掲載雑誌名から検索して下さい。また、たとえ雑誌を見つけたとしても、該当巻号を所蔵しているかを出納票の画面で確認して下さい。

もし残念なことに所蔵していなくても、諦めずにレファレンス・カウンターに相談して下さい。他の所蔵機関を調査し、文献の入手をお手伝いします。

(参考係：土屋 玲)

《伝言板》

春期長期貸出 いよいよ 開始

☆ 春期休暇中、長く本を借りたいのですが... ☆

「長期貸出という制度がありますので、いつもより長く借りることができます。」

● いつから受付するのですか? ●

「1月23日から2月8日までです。」

◇ 何冊借りることができますか? ◇

「1人10冊までです。さらに通常通り、一般貸出で2週間5冊、指定図書が1週間2冊、借りることができますよ。」

■ いつまでに返さなければいけませんか? ■

「たとえば、1月23日に本を借りた場合、4月2日までに返却してください。」

▽ どんな人も長期貸出ができるのですか? ▽

「長期貸出の対象は1年から3年の学部学生のみです。4年次生は卒論貸出がこれに代わります。聴講生や研修生、学外者の方々は残念ながら長期貸出はできません。」

....という事で今年も春期長期貸出の受付が始まります。

長あゝい長あゝい春休み、この機会にたくさん本を借りて読みましょう。

図書館も日・祝日を除き開館していますので、たまにはお立ち寄りくださいね。

じゃあ また。 カウンターで。

《ライブラリアンズ・ハート》

マニュアルは読みづらい！

“情報化”時代到来により、いろいろなパソコン機器やソフトウェアが溢れんばかりに出現している。我が図書館にもマニュアル等がズリと顔を並べているが、これらの本は読み辛い。私も仕事柄、マニュアルのお世話によくあるが、一度目を通してだけで理解できたことはまずない(自慢してドス!!)。どこが難点なのかといえば、やたらがカタカナや英数字が多く、“用語解説集”なしでは理解できない単語が羅列してある。(この“用語解説集”自体がまた意味不明なのである。)例えば「MS-DOSはマイクロソフト社の開発した8086/8088系マイクロプロセッサ用のディスクオペレーティングシステムで・・・」といった具合に延々と続き、内容は頭を素通りしていく。

読み辛いといえば、学生時代のテキストもそうだった。試験になると、とりあえず丸暗記することに精を出す。理解せずに定義だけ覚えるのだから、呪文のようにひたすら唱えるしかない。家族団楽の夕食時にも、お茶碗片手に天井を睨みながら「二つの財、XとYがあるとき……を限界効用逓減の法則という」とカブカブ呟く。家族は一瞬「へっ!」という顔をしながらも「それ、わかっているの?」と聞いてくれるが、「りんごとみかんを幾つまでおいしく食べられるか、ということ」などと訳の分からない答えしか出てこない。

このように話を進めてくると、読み辛いのは書物のせいではなく、本人のやる気のように思われるが、それだけでないと思うのは私の性格の悪さだろうか。

ここで、不安になるのは我が図書館発行の「GEMMA利用の手引き」である。実は私も製作者の一員なのだが、利用者にとって果たして使い易いのだろうか?「他人のマニュアル見て、我がマニュアル直せ」という諺にもあるように(?)、少しでも読み易いマニュアルを作成していこうと新しに思うのである。

(システム係 伊藤法子)

図書館は巨大迷路?

「すみませーん。こっちは事務室です」2階事務室への扉が開いていたため迷い込んでしまった学生、留学生、ウロウロウロ...「ひあいずおふいす!」扉が開いていると『事務室立入禁止』の札がかかっているにもかかわらず、新学期になると必ず誰かが迷い込んできます。かくいう私も学生の時、トイレの場所がわからず地下1階の書庫の方へ迷い込んだ経験が... 書庫入庫の日、うーんと案内図を手にして悩んでいる学生、「この図はわからん」と言って目ざす方向と反対に歩いて行ってしまった教員。図書館で巨大迷路だったのかしらん? でも不思議なもので何年も毎日返本*していると、本を手にとると同時にその本があるべき場所に勝手に足が動いていってしまいます。『あれっ、変だなあ。ここにあったはずなのに... あっ、そうそうそういえばこの夏休みに移動させたんだっけ』そうなのです。図書館では毎日返本のたびに、あっちが入らんこっちが入らんというのは移動、また移動、またまた移動。毎年確実に増えていく約2万冊強もの図書・雑誌の居場所(棚にして約250m!?)を作るために移動の連続なのです。いつでも利用したい本をすぐ取り出せるように図書館の奥では何人もの図書館員がほこりと戦いながらせっせと作業を続けています。

このように図書館の奥では多くの図書館員が働いています。迷路に迷い込んだ時には、是非声をかけて下さい。また、迷いながらもぶらぶら歩いているときっと楽しい発見があると思います。「図書館には何も無い」と言わずに一度迷路の中で迷ってみて下さい。ひょっとすると「えっ、こんなのあったの!」という嬉しい驚きがあるかもしれません。

(逐次刊行物係 関川理美)

*利用された本を棚に戻す作業。1日2回行っていますが、それでも多い時は毎回約30人の図書館員が作業をして30分以上、時には1時間以上かかります。

《新着図書紹介》

この冬お薦めする一冊

(整理係より)

☆

「文学じゃないかもしれない症候群」 高橋源一郎著

<914K/681>

バース、カルヴィーノを敬愛し、日本近代文学をつぶさに調査する一方、少女マンガに心酔して止まない現代日本文学の若き巨匠高橋源一郎のエッセイ風評論集。前作「文学がこんなにわかっていいのかしら」を読み、日記文学「追憶の一九八九年」に付き合った読者なら誰でも、本書を心待ちにしていたに違いない。デビュー作「さようなら、ギャングたち」以後、小説作品ではいまひとつ窮屈そうにみえる著者だが、エッセイを書くときにはたちまち元気になってしまうのだから不思議だ。この不思議はいわゆる「ポスト・モダン文学」あるいは現代文学を考えるうえで、何かのヒントになるだろう。柄谷行人、蓮實重彦など、何やら難しい文芸批評に疲れたときの息抜きとして気軽に読もう。1991年1月から約1年にわたって担当した朝日新聞の「文芸時評」、仮構講演の記録「『正義』について」などを収録。文学をわかってしまいたいあなたに。

☆

"A Norton Critical Edition"

<938/202/v.0-1~81>

1960年代版を重ねて出版されているシリーズですが、不思議なことに今まで殆ど入っていないのが、今回まとまって入りましたので、ご紹介します。主として、メルヴィル、ミルトン、シェイクスピア、スウィフト、ホイットマン等古今の英米作家の個々の作品をテーマに、そのテキスト・バックグラウンド・その作品に関する諸々の評論・エピソード・ビブリオグラフィー等を全て網羅したシリーズです。卒論等には最適の資料ですが、残念ながら??英語の原典ですので、果たしてどの位利用されるか心配ですが、文学を卒論のテーマにする英文科等の皆さんには是非一読をお勧めする資料です。

☆

「地に火を放つ者：双児のトマスによる第五の福音」 三田誠広著

<913K/1895>

トマスは荒れ野で自分にうりふたつの男に出会う。男は会う以前からトマスを知っているのだと言う。超常現象を示し、タブーである神の存在を疑うことすら恐れぬこの男は一体何者なのか?トマスは誘われるままに男と旅を始める……。主人公トマスの目を通して描く超常者イエス・キリスト伝。

☆

「食べてみたい美味しい地球」 森下賢一著

<12月購入予定>

グルメブームで世界各国の食べ物が簡単に手に入る現代の日本。しかし、各国の人々が毎日どんな物を食べているのか?という具体的な食料事情までは、なかなか知られていないのではないだろうか。この本には東京在住の外交官夫人43人の食事に関するインタビューがまとめられており、それぞれの国の毎日の食卓に上がる料理が紹介されている。料理法や材料からは生活の様子や国民性を感じられて、「食」という観点から世界の文化を知ることができる。またインタビューをした43国の代表的な料理の簡単なレシピ(作り方)もついており、実際に料理をしてみることもできる。

☆

「24人のビリー・ミリガン」 ダニエル・キイス著

<A936K/207/v.1~2>

合衆国の歴史上はじめて、重罪にもかかわらず、多重人格者であるため、精神障害という理由で無罪とされた人物、ウィリアム・スタンリー・ミリガンの現在までの人生を事実にもとづいて書かれた上下巻。ミリガンは逮捕された当初から有名になり、論争的となった。彼の顔は新聞の一面や表紙に載った。彼の精神鑑定の結果は、世界中で夜のテレビ・ニュースでとりあげられ、新聞の見出しとなった。なぜ彼が24人もの人格をもつようになったのか、そんな彼をあたたく見守る人々、ひきこまれる本である。

ライブラリーカレンダー

1993.1 ~ 1993.3

1 月					2 月					3 月				
9:00 3:30 6:30					9:00 3:30 6:30					9:00 3:30 6:30				
0:00	4:30	8:00	長書		0:00	4:30	8:00	長書		0:00	4:30	8:00	長書	
1(金) 元旦	冬期休館				1(月)			★	★	1(月)				★
2(土)	1月6日まで				2(火)			★		2(火)				
3(日)					3(水)			★		3(水)				
4(月)					4(木)			★	★	4(木)				★
5(火)					5(金)			★		5(金)				
6(水)					6(土)			★	★	6(土)				★
7(木)				★	7(日)					7(日)				
8(金)				★	8(月)			★	★	8(月)				★
9(土)				★	9(火) 休館	平成5年度				9(火)				
10(日)				★	10(水)	入学試験の為				10(水)				
11(月)				★	11(木)	2月13日まで				11(木)				★
12(火)					12(金)					12(金)				
13(水)					13(土)					13(土)				★
14(木)				★	14(日)					14(日)				
15(金) 成人の日					15(月)			★		15(月)				★
16(土)				★	16(火)					16(火)				
17(日)					17(水)					17(水)				
18(月)				★	18(木)			★		18(木)				★
19(火)					19(金)					19(金)				
20(水)					20(土)			★		20(土) 卒業式				
21(木)				★	21(日)					21(日)				
22(金)					22(月)			★		22(月) 振替休日				
23(土)				★	23(火)					23(火)				
24(日)					24(水)					24(水)				
25(月)				★	25(木)			★		25(木)				★
26(火)				★	26(金)					26(金)				
27(水)				★	27(土)			★		27(土)				★
28(木)				★	28(日)					28(日)				
29(金)				★						29(月)				★
30(土)				★						30(火)				
31(日)										31(水)				

: 開館時間 長: 春期休暇中長期貸出取扱期間

書: 3・4年次生書庫入庫日 (月・木 pm1:00~4:30, 土 am9:00~11:30)

● GEMMA講習会、文献探索講習会は4月より再開します。

《編集後記》

凍えそうだからといって、
心まで重ね着して、
閉じ籠っていませんか?!

(N.I, A.I, M.K)



(タイポグラフィ: 平松富美)

南山大学図書館報 デュナミス No.16

1993.1.1.発行

南山大学図書館 広報委員会

編集委員: 伊藤(法), 伊藤(敦), 加藤(美)

〒466 名古屋市昭和区山里町18

Tel. 052(832)3707

Fax (G3) 052(833)6986